

国境離島地域を対象する景観と風土 の写真表現を用いた調査

—ヴァナキュラーをキーワードに—

芸術学部
写真・映像メディア学科
准教授
進藤 環



研究シーズの紹介

本研究は、特有の生態や文化が保持されている海洋に囲まれた離島や、陸地でも交通の不便などから独特の環境を育むことができる地域の風土に注目し、写真撮影を用いてアプローチし、作品制作を通して地域の生態環境を表象することを目的としています。令和元年は壱岐島（長崎県）と宮崎県の

日南市と綾町を対象とした調査を行い、風土に関連づけた作品を制作し、同年秋に宮崎県立美術館で展覧会を開催しました。インスタレーション（作品と展示環境を関連づけ、一体感のある芸術的空間を表現するアート）を中心とした発表において、観客と共有される創造的な空間をつくり出しています。



特異な地域の景観と風土に着目

- 壱岐島の海食地形、宮崎県日南市の波状岩、綾町を照葉樹林を撮影。「写し取る」をキーワードに、写真、フロッタージュ等の技法を用いた表現で生態環境を表象します。



地域の特徴を発信

- 作品制作を通して地域の特徴を見出し、作品発表で発信します。



地域住民参加型アート・プロジェクト

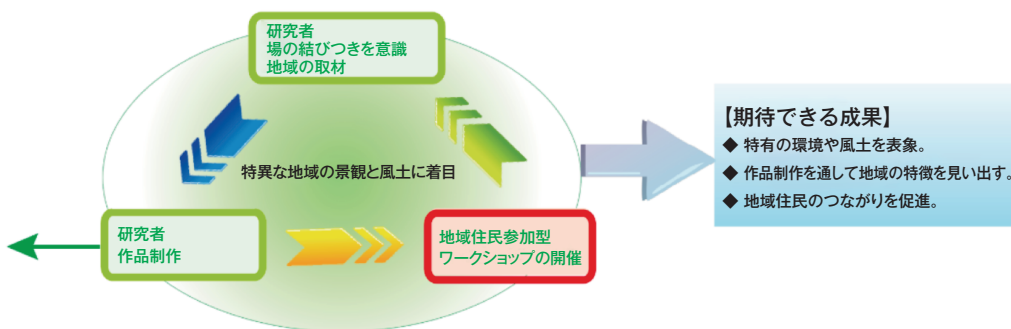
- ワークショップを開催することで、地域住民つながりが期待できます。

「写し取る」をキーワードに

フロッタージュ
凹凸の上に紙をのせ、鉛筆やクレヨンなどでこすって模様を写し取る技法



サイアノタイプ
鉄塩の化学反応を利用した写真・複写技法

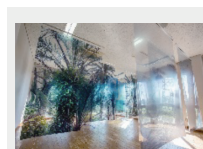


期待される活用シーン

- アート作品による地域の特徴を発信



風土に関連づけた作品を制作し、観客と共有される創造的な空間をつくり出すことで、地域の特徴をより強く発信することができます。



宮崎県日南市・綾町を題材にした作品のインスタレーションによる展示。

- 芸術表現やその手法を使った地域活動の展開



地域住民の参加型アートイベント、ワークショップの開催による地域の活性化を促進します。



地域住民参加型ワークショップの開催。